



那覇市立教育研究所 所報

第10号
令和2年1月6日発行
所長 平安山 敏和



一二期 研究員の研究紹介

所長 平安山 敏和

明けましておめでとうございます。令和二年・子年がスタートしました。教育研究所では、教育に関する調査・研究を通して、市内各校の特徵や現状を捉え、各研修・講座、情報教育環境整備の充実・向上に向けて取り組んでまいります。今年も教育研究所事業等への御理解、御協力をお願いいたします。

さて、後期研究員（一二期）も残り半期になり、五人の研究員は、研究のまとめに取りかかっております。三月には、研究発表と研究報告書のWebページ掲載を行う予定ですので各学校の授業改善に役立てていただければと存じます。一二期研究員の研究テーマ・研究目標は、次のとおりです。

●島尻 勝紀 研究員（小緑南こども園）

【研究テーマ】

幼児が思いや考えを伝え合う喜びを味わうための環境構成と援助の工夫
～園生活の体験から「ごっこ遊び」への展開を通して～

【研究目標】

幼児が、相手の思いや考えを互いに受け入れながら、伝え合う喜びを味わえるような、環境構成と援助の工夫を、「ごっこ遊び」を通して実践的に研究する。

●仲宗根 広 研究員（泊小学校）

【研究テーマ】

思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業展開
～数学的な見方・考え方を働かせた問題解決学習を通して～

【研究目標】

思考力・判断力・表現力等を育成するための手立てとして、数学的な見方・考え方を働かせた問題解決学習の有用性について検証する。

●高野 亮 研究員（松川小学校）

【研究テーマ】

自己有用感を高める学級活動の工夫
～生活上の課題を解決するための話し合い・実践を通して～

【研究目標】

児童の自己有用感を高めるために、児童会活動の経験を生かした生活上の課題の発見・議題化や、その解決に向けて主体的に話し合わせる手だて、「役立つ自分」を実感する相互評価の工夫について実践的に研究する。

●安里 心八 研究員（壺屋小学校）

【研究テーマ】

自己やチームの課題の解決を目指す児童の育成
～交流活動を通じたソフト（キヤッチ）バレーボール運動の授業の工夫～

【研究目標】

自己やチームの課題の解決を目指す児童を育成するために、スキルアップタイム・パワーアップタイムの場において課題の解決を目指す練習の工夫をしたり、チームで作戦を立てて、実践する場面の工夫を実践的に研究する。

●照屋 真紀子 研究員（神原中学校）

【研究テーマ】

美術文化に対する見方や感じ方を深める鑑賞の活動
～造形的な視点を意識した「対話」の工夫を通して～

【研究目標】

美術文化の見方や感じ方を深めるために、表現の活動との関連や造形的な視点を意識させた「対話」の工夫を実践的に研究する。

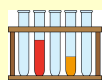
1月の教育研究所事業予定

- 23日（木）第14回 初任者研修【特別支援学校見学】
30日（木）第5回 情報教育研修会

理科に関するお知らせ

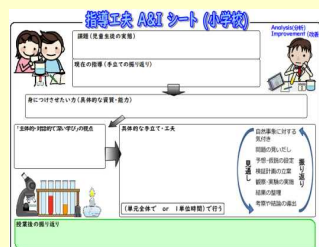
①新規「理科の教育」

月刊誌入荷
（今年度のバックナンバー有）



②「指導工夫A&Iシート」小中を作成

理科の授業における指導法を振り返るシートを教育課程理科部会で作成致しました。



※Analysis(分析) & Improvement(改善)

※データは研究所WebページでDLできます。どうぞご活用下さい。

113期研究員・検証授業

島尻 勝紀 研究員（小緑南こども園）

幼児が思いや考えを伝え合う喜びを味わうために、これまでの園生活の体験から「ごっこ遊び」が展開されました。振り返りでは、それぞれが感じた思いや考えを伝え合う、園児の姿がみられました。



高野 亮 研究員（松川小）

5学年の委員会活動の経験も活かし、「まっかわパワーアップ作戦を実行しよう！」について、学級生活上の課題を解決する方法について、お互いの意見を認め合いながら話し合いができました。



仲宗根 広 研究員（泊小）

問題解決学習を通して、気づいた数学的な考え方を「〇〇のカギ」とネーミングし、また、それを活用し、既習の知識と学習したことを関連付けて考えることができました。



照屋 真紀子 研究員（神原中）

「なりきり仏像」という表現活動を行いました。そして、自他のなりきり仏像や実際の仏像の写真と「向き合い」鑑賞しました。話し合い活動では、多様な意見にふれ、仏師の仏像に対する思いに迫りながら鑑賞することができました。



安里 心八 研究員（壺屋小）の検証授業は1月に予定しております